

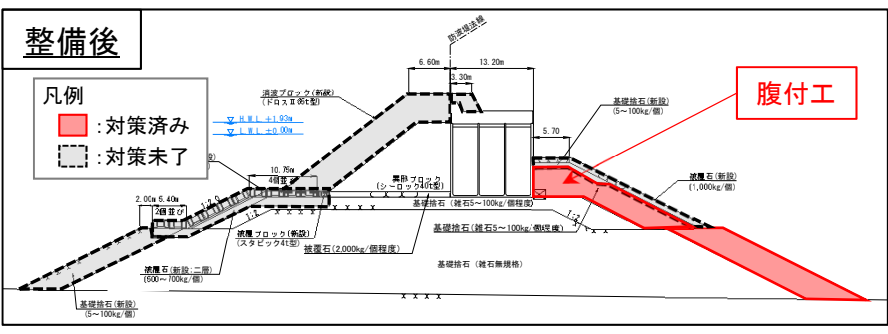
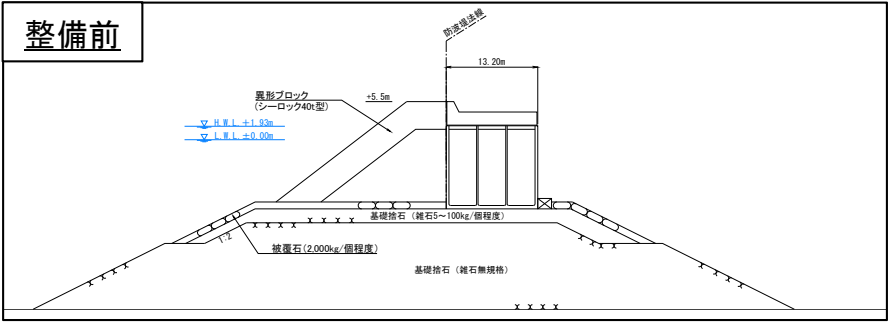
厳原港における防波堤の高潮・高波対策(長崎県対馬市)

効果概要:平成9年9月の台風第19号(沖波波高6.0m)時には、防波堤(北)が被災し、ケーソン本体が倒壊したが、5か年加速化対策により、高潮・高波対策として、設計外力を見直した上で、ケーソン本体背後の腹付工を実施し、ケーソンの滑動対策が先行的に概成していたため、過去の被災時と同等の沖波波高(6.0m)であった台風第14号では、防波堤背後を補強していたため被災せず、離島対馬の物流・人流の要である厳原港の海上交通ネットワークを維持できた。

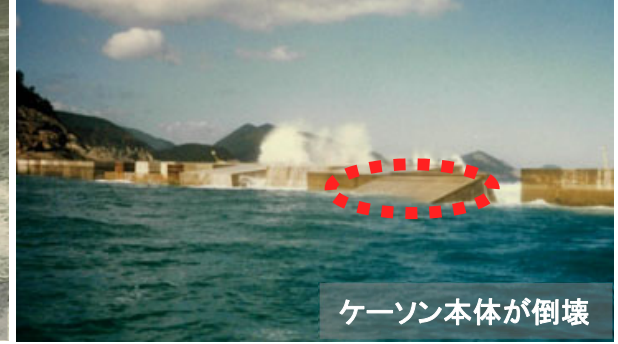
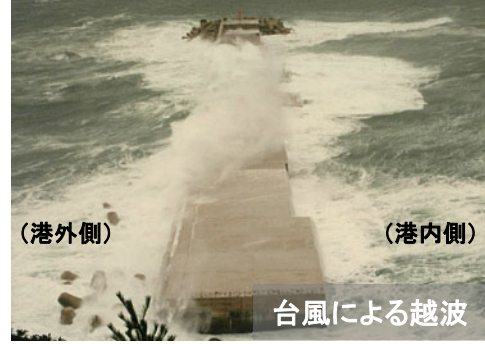
府省庁名:国土交通省

- 実施主体:国土交通省九州地方整備局
- 対策の概要:ケーソン本体背後の腹付工等(R2d~)
- 整備状況:

- 効果:平成9年9月の台風第19号時(沖波波高6.0m)には、防波堤(北)が被災し、ケーソン本体が倒壊したが、対策を実施していたことで、過去の被災時と同等の沖波波高(6.0m)であった令和4年台風第14号においては被災せず、施設被害を防止できた。



【整備前:平成9年台風第19号による防波堤(北)の被災状況】



【整備後:令和4年台風第14号による防波堤(北)の状況】



厳原港みなとカメラ
2022/09/19 09:19:05